

ぼくはこの一年で、たくさんのことをやってきました。そのことについてしようかします。

はじめに、失敗から学んだことです。ぼくは人の心がわかりません。そのせいで、相手のことをきずつけてしまうことがあります。自分が言われたり、されたりしたらいやなはずなのに、人のことになつたら、それがむずかしくなります。前に体育で、グループに分かれて競っていたときに、勝負に負けて泣いていたクラスメイトがいました。ぼくは、その子に向かって、

「ドンマイ。」

と声をかけましたが、その子からは、

「ばかにしないで。」

と言われました。ぼくは、泣いていた子をはげますつもりだったのに、ぎやくにおこらせてしまいました。そのことを、先生とお母さんに相談したら、ドンマイという言葉は、悪い言葉ではないけれど、時と場合によつて、使い方をまちがえると、相手をきずつけてしまうと聞きました。それから、いつも相手に何か言うときに、これは言つていいことか、悪いことかを考えてから行動しようと思がけることが大切だと学びました。

次は、友達との関わりについてです。ぼくは友達といるとき、ぜんぜん関係のない話をしてしまったり、友達が話しているとちゆう

なのに、自分の話でわりこんでしまったりするときがあります。そういう日は、家でお父さんやお母さんとふり返つて、話し合いをします。これからも、相手の気持ちについて考えて、ぼくの友達みたいにやさしくなりたいです。

三つ目は、自分が成長したことです。三年生のころに、なわとびの交差とびにちよう戦して、最高で五回しかとべませんでした。でも、今年はこのつをつかんで、たくさん練習を重ねたので、最高で五十四回とべるようになって、うれしかったです。他にも、去年はいろんな本を読んで、世界のことを知るのが好きだったけど、今年は生き物が好きになり、家で生き物レポートを作るようになりました。生き物レポートとは、自分が気になった動物や虫を図かんから見つけて、紙に名前や大きさ、生息地や特ちょうを自分なりにまとめたメモのことです。これからも、いろんな生き物を調べて、もっとたくさんの生き物レポートを作っていきたいです。

四つ目は、家族への感しやです。ぼくの家は、弟、お母さん、お父さん、自分の四大家族です。ふだんは、いつも仲良くくらしていますが、弟とぼくがけんかしてしまふこともよくあります。けんかの原いんは、ぼくにあったり、弟にあったりしますが、プラモデルやブロックをこわしたりしてけんかになることが多いです。他にも、食べたものの好みが分かれているときにも、けんかが起こります。でも、けんかを毎回かい決させてくれるお母さんとお父さんが、とても大好きです。そこで、ぼくは弟と話し合つて、けんかをなくす方法を考えたいと思いました。弟とプラモデルやレゴを使って遊んでいるとき、相手が作っている物を勝手にさわらず、しっかりとよかをもらつてからさわるようにする。ごはんを決めるときは、ゆ

ずったり、じゃんけんをしたり、弟の意見を聞いたりして決める。こういうことをすれば、けんかになることはないと思います。それから、お母さんに感しゃしていることは、学校から帰ってきたら、いつも笑顔で、

「おかえり。」

と言ってくれるから、そのおかげでいつも楽しく学校生活を送れて、無事に帰って来ることが出来ます。だからこれからも、お母さんのことを手伝ってあげたいです。お父さんに感しゃしていることは、おもしろくて真面目なところが好きで、家族のためにいつも行動してくれるところです。そんなお父さんみたいに、ぼくもなりたいたいです。最後に、弟に感しゃしていることは、いつも明るく、

「いっしょに遊ぼう。」

と声をかけてくれるところです。そんな弟と、ずっといっしょにいたいです。

ぼくは、この一年、たくさんのことを学んできました。しよ来は、生物学者になりたいので、生き物のことをたくさん勉強していきたいながら、人との関わり方についても、もっと学んでいきたいです。そして、やさしい人になっていきたいです。